

平成24年4月1日から平成24年5月31日までの事業概況を報告します。

## 1 概要

- 公益事業では、福岡北九州高速道路公社、福岡県道路公社などのテレビジョン放送受信障害対策施設10施設及び本体施設の維持管理を行ないました。
- 収益事業につきましては、CS放送サービス、BS放送サービス、インターネット接続サービスを本体施設加入者に案内し収入増をはかりました。
- 事業収支は、収入44百万円、支出は70百万円でした。管理受託料及び長期前受金の事業収入への繰り入れ（約140百万円）は6月に行なうので、収支差金は-26百万円でした。

## 2 事業の状況

### (1) 公益事業

- ・アナログ放送終了による維持管理の有料化  
地上デジタル放送を再放送している地上アナログ放送の電波障害対策者に、地上アナログ放送終了後の有料化案内を行ないました。
- ・施設の維持管理  
本体施設(26,538世帯)及び受信障害対策施設(4,850世帯)の11施設につきまして、加入者からの苦情処理、地上デジタル放送問合せ対応、電柱管理者等からの要請による線路設備移設等に対処して、維持管理を行ないました。

### (2) 収益事業

- ・CSサービス、BSサービス、インターネットサービス  
収入増をはかるため基本番組加入者に、各サービスへの加入案内をFCVチャンネル・ホームページ上で行ないましたが、集合住宅の解約があり、CS放送サービスは70世帯減、BS放送サービスは16世帯減、インターネット接続サービスは28世帯の減となりました。

3 加入状況 (平成24年5月31日現在)

| サービス名         | 区分    | 5月末<br>利用<br>世帯数 | 加入  | 解約  | 対前年度 |
|---------------|-------|------------------|-----|-----|------|
| 基本番組          | 本体施設  | 26,538           | 64  | 505 | ▲441 |
|               | (有料化) | (106)            | (0) | —   | (0)  |
|               | 対策施設  | 4,850            | 1   | 3   | ▲2   |
|               | (有料化) | (114)            | (1) | —   | (1)  |
| C S 放送サービス    |       | 1,297            | 18  | 88  | ▲70  |
| B S 放送サービス    |       | 823              | 15  | 31  | ▲16  |
| インターネット接続サービス |       | 829              | 8   | 36  | ▲28  |

単位：世帯

4 事務局員 (平成24年5月31日現在)

事務局長、職員8名 計9名

5 理事会

第163回理事会(平成24年5月23日 紙上開催)

議案 満期日繰上特約付定期預金の契約締結について

以上